



医療法人社団萌気会
在宅療養支援診療所 (二日町)
在宅療養支援有床診療所 (浦佐)

11
Vol 366
2022/11.15

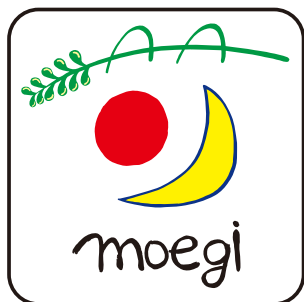
もえぎ

萩原 曉さん書



新型コロナウイルスの現状

- 利用者さんとのコミュニケーションの正解は? 2
- 萌気会30周年を迎えて 3
- 黒岩卓夫一代記 4
- みんなの食堂 5
- 綱引き/秋の運動会 6
- 萌気園ハロウィンフォトギャラリー
- 芸術の秋!! 五十沢文化芸能祭 7
- うちの利用者さん/事業所紹介/コラム/編集後記 ... 8



新型コロナ 感染症の現状

萌気園二日町診療所 院長
皆川 秀夫

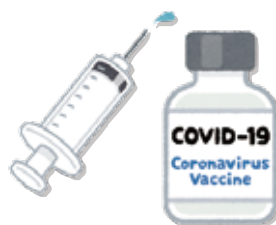


朝夕寒いと感じる10月末の今日この頃です。風邪気味の患者の受診は多いが新型コロナウイルスの感染者はめっきり減ってきた。8月中の第7波流行のピークから感染者数は徐々に減っているものの全国での発生は1日2から4万人にのぼる。下げ止まりの状態収束に至っていない。厚労省の助言機関は、全国の新規感染者数が増加に転じている。今後も継続するか注視が必要とした。今冬の第8波が始まる可能性を示した。ワクチン接種や感染に伴う免疫の低下や行動制限の緩和に伴い、人の動きが活発化したことの影響とみている。

また、欧米で「BQ・1」や「BQ・1.1」などオミクロン株の新系統が複数報告されていて今後の流行に関与する可能性も懸念される。欧州の一部やアジアで感染が拡大している状況もあり第8波流行の可能性は高いとされた。

厚労省ではオミクロン株に対応した2価ワクチン接種を前回接種から少なくとも3ヶ月経過後と接種間隔の短縮を了承した。いずれも3回目以降の接種に適用される。

第7波のような大流行はなくなってほしいものだ。



利用者さんとの コミュニケーションの正解は？

萌気園通所リハビリセンター浦佐
島村 康夫



介護福祉士資格取得に際し、“具体的な”利用者さんとのかかわり方、会話術というカリキュラム、指導はない(介護福祉士養成校学生の施設実習がそれにあたるかも)。教科書には載っていない。

現場で働きだしてから、具体的な指導を受けるよりも、先輩職員の言動を真似たり、自分の性格や経験を活かして利用者さんに関わり、次第に話せるようになっていく。そのため法人や事業所ごとのカラーが自然と出てくるのだと思う。

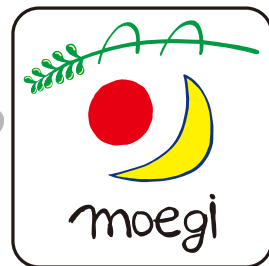
私自身、最初に配属されたデイサービス地蔵の湯で見聞きし、感じたものが、これまでの働き方の根幹になっている。あえて言葉にすれば、優しく・気安く・不快にさせない。

職員と利用者さんが互いに、お世話する人される人という意識でなく、ただ歳の離れた人と人という意識さえしない関係性で会話ができることが理想と考えている。利用者さんの快・不快がひとつの基準であるが、ある職員とある利用者さんの関係性は唯一のものであり、全職員が画一的な言い回しや語だけを使うような事業所になってはいけない。時代錯誤かもしれないが私は強くそう思う。

近年、利用者さんの権利意識の高まり、介護の機械化が進んでいるが、一人の利用者さんを思いながらのかかわり、会話においてはロボットやAIよりも人間のほうが優れている、そう言い切れる自分でいたい。



萌気会30周年を迎えて



去る10月23日、“ホテル坂戸城”様で、
「萌気会創立30周年記念式典」が開催されました。



式典までの裏側を
少し覗いてみてください(^^♪

萌気会30周年記念事業式典係
栗原 哲也・木暮 拓美



係りの仕事として、まず式場を確保する為、5月の連休明けに動き出したものの、すでに公共の会場は予約で一杯でした(@_@;)。飲食無しの式典。会場に悩みましたが、“ホテル坂戸城”様が快く引き受けて下さいました。

会場は決まりホッとする安心(-.-)。とは言え、忘年会幹事長の経験から、「早め早め」の行動が功を奏して(´▽`*)次は式典までのタイムスケジュールの作成、プログラムの検討。大枠が決まると、そこに付随する記念品・贈呈品・賞品もろもろの検討。これらの品々は、地域との繋がりを大切にしたいという理事長や委員の思い、委員の細かいこだわりをお店側に何度も色々なお願いをし、快くご協力してくださり素敵な品が出来上がりました。式典で品々を手になっている職員の表情が嬉しかったです。

式典では、創立からの30年間で蘇るような、歴史あるスライドショーを楽しんでいただけたのではないのでしょうか？また委員のこだわりある演出やスライドのテクニックは素晴らしかったです👏👏👏。クイズ15問を考えるのは苦戦しました(・´з`・)。

司会を務めた木暮ですが、前方より参加者の皆様を拝見しながら、「さすが萌気会」(人´▽`)人 皆さん個性的な装いでした♪。黒岩先生はとってもお洒落でしたねぇ👏。

式典後は、「お疲れ様でした。楽しかったです。」と多くの声を頂き、記憶に残る式典が開催できたのではないかと委員ともども嬉しく感じております。

職員の皆様を始め多くの方々のご協力をありがとうございました。



第24話 大倉鉱山と 雪国の青年たち

今やコシヒカリの魚沼、旧大和町はかつては冬の出稼ぎも不要となる鉱山の街だった

今回は、八色原、水無川そして八海山の地底に眠る大倉鉱山に青春をかけた青年たちの夢、大倉鉱山について話したいと思う

大倉鉱山の歴史は明治38年頃、足尾鉱山の影響を受け、山師の対象となる

大戦への国策として昭和18年大倉産業が創立され、褐鉄鉱採掘をはじめ

敗戦で一時中断したが、不二越鉱業が大倉産業を買収して仕事を始める昭和28年までは順調で、従業員も多い時には500人に達した

特に大倉から浦佐まで2つの中継所を設けて、ケーブル（索道）をつくり、夜中までガタガタと大きな音をたてて鉄鉱石を運搬した

冬期間、広々とした八色原を一本の索道が雪原に刻まれる風景は有名になった

一万貯鉱所で運送の出発駅には、ホッパ川貯鉱槽ができ、貨車に容易に積み込むことができた

浦佐駅からは貨物列車で安中市の精錬工場に運び、鉄を精錬していた

小規模精錬所は浦佐の現天王町にもあった2本の高い煙突もあり赤レンガでつくられていたその煙突の部が、昭和45年には残っていたが、昭和45年には残っていたが、田に転換する大開発で撤去されることになった

また菱荷沢の料亭や旅館、浦佐の料亭も賑わい、毎晩酒宴があり、芸者の姿も花を添えていた

しかし鉱山の採掘は地下が大部分で爆薬を使って発破により粉塵や落石の危険との闘いでもあった

昭和28年浦佐の貯鉱所が失火（自然発火）で索道の破損が大きく経営不振となり、一万大倉鉱山は過当な設備投資と業績不振から、昭和29年12月をもって倒産し、閉山となった

昭和30年代のスキー場建設は最先端のバイオリンの仕事を、これをやり遂げたのが平川警吉さんだ

平川さんは索道（ケーブル）製作の技術でもあり、その技術をスキーリフトに応用して、最近のスキー場をつつた

浦佐の街は、あつという間に民宿の街になった

浦佐スキー場は2011年、五日町スキー場も2020年度に廃業したが、八海山麓スキー場は継続している

浦佐スキー場は、かつては技術指導では日本でも有名だった浦佐のハッチは自慢だった

五日町スキー場は「農民スキー場」として親しまれ、数年前にはスペシャルオリンピックの会場となった

八海山麓スキー場（公立）は、今でも独自のイベントや健康づくりとも連携したアイデアで子どもや健康づくりに広く利用されている

南魚沼市（旧六日町、塩沢）にも鉱山はあった。しかし今はない。大倉鉱山も含め、大戦の特需から一時的には活況を呈したが、戦後海外からの輸入も考えれば、質量ともに太刀打ちはできなかった。その事実と歴史は令和3年発行された『地底のシリウス』に詳しい。この作成者の三氏（青木一男氏・井口優氏・小田島昇吉氏）に心から敬意を表したい。なおスキー場の営業は、社会の変化や苗場スキー場の開設で一変した。

c o m m u n i t y f r i d g e

みんなの冷蔵庫 みんなの食堂



「お寺冷蔵庫」

特製弁当・クレープ

限定100食(完全テイクアウト)

どなたでも参加できます



※写真はイメージです。

11/20
(日)

11:30~14:00

食事(特製弁当・クレープ)の提供は11:30~なくなり次第終了。

大人:100円・小人:無料

場所:萌気園大和通所介護「地蔵の湯」

住所:南魚沼市市野江甲2-1



問合わせ先 医療法人社団萌気会 法人事務所

☎ 025-781-6155 担当:上村・田中

通所リハビリセンター浦佐



綱引き大会



10月20日、今年で3回目の職員によるリハセン綱引き大会が開催されました。職員が真剣に綱を引き合い、利用者さんに自分の優勝予想したチームを応援し楽しんでもらおうというこの企画。4チームに分かれ、1試合10秒間の熱き戦いが繰り広げられました。「レディー・ゴー」の掛け声と同時に「がんばれー」「いけー」など声援が飛び交っていました。

利用者さんから「職員の人達が真剣に引き合っているのを見て面白かった」「職員の人達から力をもらった」との声が聞かれ、活気に満ちた綱引き大会になりました。



リハビリセンター綱引き大会



萌気園二日町診療所 曼陀羅華

秋の運動会



少し肌寒さを感じ始めた頃に曼陀羅華では職員と利用者さんによる秋の運動会を行いました。洗濯物畳み競争、借り物競争、物送りリレー等を行い普段は朗らかに過ごされる利用者さんの目に競争心の炎が灯り、大いに盛り上がっていました。



物送りリレー



洗濯物畳み競争



借り物競争



萌気園



ハロウィン フォトギャラリー

トリック オア トリート!!

萌気園の各事業所の利用者さんにハロウィンの仮装をお楽しみいただいた様子をお伝えします。皆さんはどんな仮装をしましたか?

看護小規模多機能居宅介護
コム・ソフィ&ナース



小規模多機能居宅介護
たまんの郷



通所リハビリセンター浦佐



誰かわかるかな?



ジャック・オー・ランタン!



ミイラ男の正体は...



小規模多機能ホーム さくりの郷

芸術の秋!五十沢文化芸能祭

10月30日(日)に行われました地域の文化祭におじゃましてきました。体育館では地域の方々が唄や舞踊を披露され、展示室では書、俳句、写真、盆栽、手芸品、ラジコン、収穫物など様々な作品が展示されていました。どれも見事な出来栄え!有意義な飽きのこない時間を過ごさせていただきました。



うちの利用者さん

萌気園大和通所介護 「地蔵の湯」

いつも優しく笑顔が素敵な阿部さん。
若い頃は和裁と洋裁をやっていたそうです。
今でも縫物が大好きとのことで地蔵の湯でも縫物をしてくださっています。
ボランティアを長年されており踊りや三味線を演奏しながら民謡を歌われていたそうです。
最後に、地蔵の湯はどうですか?と聞いてみました。
「地蔵の湯の温泉に入って、みんなと話したりするのが楽しいよ。」とってくださいました。
これからも元気に地蔵の湯に来てくださいね!



阿部 千代様

事業所紹介

萌気園二日町診療所 「曼陀羅華」

二日町診療所に併設されている「デイケア曼陀羅華」は生活支援、リハビリを目的に主に六日町、塩沢方面にお住まいの方にご利用頂いている通所リハビリテーション施設です。

会長の意向で古民家をそのまま移設し、皆様の第二の我が家をスローガンに日々営業を行っています。施設には常に看護師がいる事により安心して利用ができる等のお声も頂いており、専門のスタッフによるリハビリテーションは勿論の事、職員によるレクリエーションや月々の行事も好評をいただいています。

ご利用いただいている皆様が笑顔で安心して過ごせるよう職員一同皆様の来所をお待ちしています。



安心コラム 小堀鷗一郎先生より“思想家”と言われ?

10月28日、東京ステーションホテル、カフェ トラヤ トウキョウで初対面のお人と落ち合う。「はじめましてでしょうか」「はじめてですよ。先生は思想家ですね」「えっ!」と戸惑う。

実は昨日メールで資料などを送っていた。その中に「黒岩卓夫はmedical social pioneer」ではの文言が入っていた。小堀先生は他でもない森鷗外の長女さんの長男にあたる。私の後輩にあたるが、東京国際医療センターの院長を務め、今は在宅が面白いと実に丁寧な訪問をしている。

二人は意気投合し、カフェから天ぷら屋に移動し語り合った。いや、森鷗外のお孫さんから褒められ、楽しく受止めさせていただきましたが、そんな柄ではないねと思いながら。でも良い一夜でした。

Dr. T. Kuroiwa



編集後記

小規模多機能居宅介護「たもんの郷」 山本 明子

暑い、暑い、と言っていたのが急にコートが欲しいような陽気になりました。ちょっと早いですね。もう少し、秋を楽しまなくては。

そして萌気会30周年おめでとうございます。萌気園が誕生した時は、ごくわずかな人数で始まったと聞きました。今では大勢の職員、利用者さん、患者さんと共に毎日過ごしております。安心して1日を送ることができるのが萌気

園です。

今は秋の季節を感じながら、おいしい栗、おいしい新米を味わうことができます。

やっぱり日本は平和ですね。感謝します。これも今のおじいちゃん、おばあちゃんが苦勞してくださったおかげ。

この世界の1人1人が安心して過ごせますよう、お祈りしています。